

千歳市市民協働推進会議議事録

会議名	市民協働推進会議（第8期 第15回）		
日時	令和4年10月28日（金） 18:00～18:50	場所	市役所 第2庁舎2階 5・6会議室
出席者	委員：9人 事務局：2人（政策推進課長、市民協働推進係）		

議題	(1)ひと・まちづくり助成事業選考審査 (2)その他
決定事項	(1)ひと・まちづくり助成事業選考審査 事業名：アートとテクノロジーの融合を考える展覧会開催事業 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 補助金以外の予算の確保や制作した大道具を再利用することによる経費削減など、事業継続を見据えた取組みを探求してください。

委員 事業申請者 実施担当課 事務局 附帯意見

会議要旨
<p>(1)ひと・まちづくり助成事業選考審査</p> <p>【事業名】アートとテクノロジーの融合を考える展覧会開催事業</p> <p><質疑応答></p> <p>大道具や暗室を使用することとなっているが、安全面で配慮はされているのか。</p> <p>それほど危険性のあるものを配置する予定はないが、例えば暗室では光が入らないような仕掛け作る予定であり、プロの大工さんに制作してもらう予定である。</p> <p>暗室の準備は団体のメンバーが行うのか。</p> <p>基本的には業者に依頼する形となる。また、以前、札幌文化芸術交流センターSCARTSで展覧会を開催したときにお世話になった技術スタッフの方にアドバイスをいただきながら、空間演出を検討したいと考えている。</p> <p>若い方は大きな音と画面を好むように感じるが、今回の会場は静かな空間というイメージでよいか。静かな音と光の空間を演出したいと考えている。</p> <p>子供向けのワークショップとは、どのようなことをするのか。</p> <p>提灯などの作品を作ることで、光る現象に対して興味がわき、その仕組みについて考えるきっかけになるのではないかと考えている。アートは単純に楽しいというだけではなく、テクノロジーが加わることで、理科や算数に対して興味を持つ子供もいるのではないかと思う。</p> <p>テクノロジーと聞くと難しいが、子供たちは理解できるのか。</p> <p>子供たちは感受性が高いので、光や音に対して、どうしてこうなるのだろうと疑問に思ってくれる。昨年、第二小学校で全児童を相手にワークショップを開催したが、皆さん楽しそうにしており、一つの作品を作ることに喜びを感じたり、自分が作ったものがどう光るかワクワクした表情を見せたりしていた。今後も定期的にワークショップを開催して、子供だけではなく大人にもアートとテクノロジーに興味を持っていただきたいと考えている。</p> <p>展示はギャラリーと文化センターで開催するのか。</p>

展示はギャラリーだけで開催する。

年間予算が0円だが、普段はどのような活動をしているのか。

活動はこの展覧会を開催するための準備である。

会費は徴収していないのか。

会費はなく、事業費については補助金や大学からの助成金により賄う考えである。

予算の会場費の項目に、文化センターと記載されているが、文化センターは使用しないのか。

会場は市民ギャラリーであるが、市民ギャラリーを管理しているのが文化センターなので、そのように記載している。

(2) その他

次回推進会議の開催は未定